

第2回会議の質問事項について【行革プランの進捗管理】

1 テレワークの平成30年度実績（35名述べ60日利用）に対する分母について

テレワークの対象となる職員は、知事部局に勤務する常勤職員約4,000人のうち、交替制勤務等を除いた職員となります（日々変動があります）。

2 光熱水使用量の支出額の把握について

- 一般財産施設（庁舎など県が所有する建物）に係る平成29年度の光熱水費は16.9億円と、平成25年度の光熱水費18.2億円に比べて、1.3億円の減となっています。
- 県施設の維持管理に係る費用（cost）の低減については、公共施設等の維持管理、更新等に係る経費の合計である「トータルコスト」の県民1人当たり負担額によって把握しており、行革プランの中でも数値目標を設定して、毎年度、進捗を公表しています。

項目	目標指標	実績値 (基準値)	目標値	H30年度末 実績
2 継続可能な財政基盤の確立				
(4) 県有財産の総合的な管理運用	一般財産施設に係るトータルコストの県民1人当たりの負担額	15,900円 (H25年度)	H25年度以下 (R2年度)	14,800円 (H29年度)

※ H25 一人当たり負担額 15,900円＝トータルコスト(181億円)／県人口(1,141千人)
 H29 一人当たり負担額 14,800円＝トータルコスト(162億円)／県人口(1,101千人)